

貨物利用運送事業の事業類型

貨物利用運送事業

○運送事業者の行う運送を利用して貨物の運送を行う事業

(利用運送の概念)

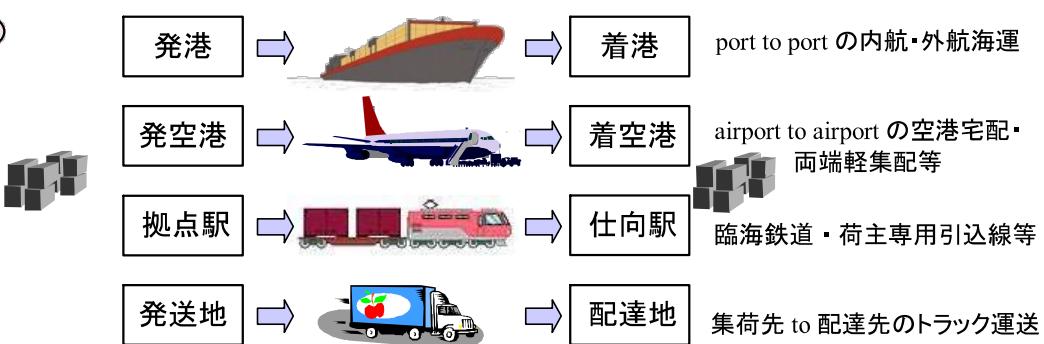


第一種貨物利用運送事業

○第二種貨物利用運送事業以外の貨物利用運送事業

○利用する実運送機関：海運・航空・鉄道・貨物自動車

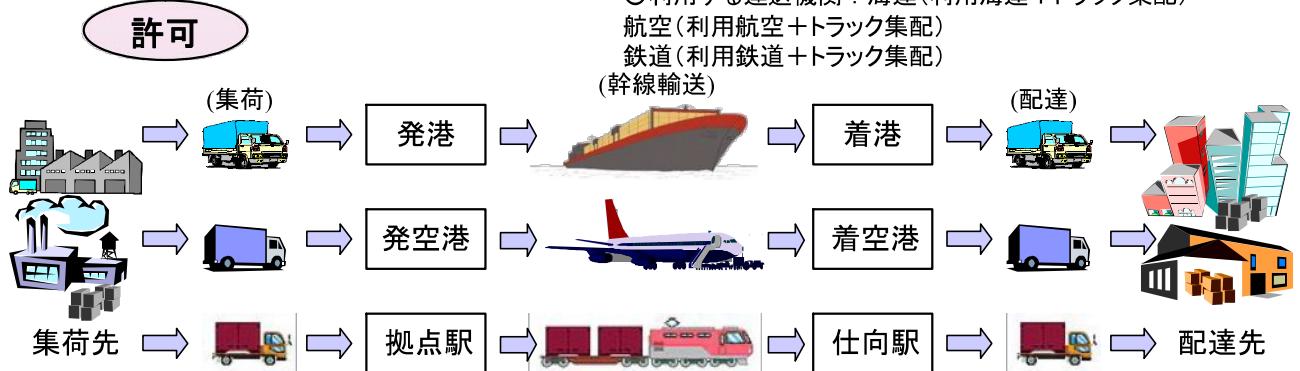
登録



第二種貨物利用運送事業

○海運、鉄道又は航空の利用運送及びこれに先行・後続する

○利用する運送機関：海運(利用海運+トラック集配)
航空(利用航空+トラック集配)
鉄道(利用鉄道+トラック集配)



(第二種貨物利用運送事業の概念)

(トラック集荷)

(幹線輸送の利用(海運・航空・鉄道))

(トラック配達)

荷主

港・空港・貨物駅

港・空港・貨物駅

荷受人

一貫運送サービス・一貫運送責任

○第二種貨物利用運送事業者が、荷主に対し、集荷・幹線輸送・配達までの
一貫運送責任を負って、戸口から戸口までの一貫運送サービスを提供

<設問①>

下記、航空貨物のChargeable Weightを求めなさい。
容積重量は6,000cm³当たりを1kgとし、小数点以下の端数は0.5kgごとに切り上げて計算すること。

1 CASE

Gross Weight 60kg

SIZE: 120x90x45cm

答え) C/W 81.0kg

容積重量 $120 \times 90 \times 45 = 486,000 \div 6,000 = 81\text{kg}$

実重量 60kg < 容積重量 81kg

<設問②>

下記、航空貨物のChargeable Weightを求めなさい。
容積重量は6,000cm³当たりを1kgとし、小数点以下の端数は0.5kgごとに切り上げて計算すること。

3 CARTONS

TOTAL G/W 25.0kg

SIZE : 55x32x35cm(2), 60x36x33cm(1)

答え) C/W 32.5kg

$55 \times 32 \times 35 \times 2 = 123,200$

$60 \times 36 \times 33 = 71,280$

$123,200 + 71,280 = 194,480 \div 6,000 = \text{Volume Weight } 32.4$

0.5kg 切り上げなので C/W 32.5kg